

2021年3月2日  
旭化成株式会社  
旭化成住工株式会社  
オムロン株式会社  
積水化学工業株式会社  
積水樹脂株式会社  
ダイハツ工業株式会社  
株式会社ダイフク  
ヤンマーホールディングス株式会社

**「生物多様性びわ湖ネットワーク」が、  
「日本自然保護大賞 2021」で大賞を受賞  
～ 滋賀県に拠点を持つ企業 8 社が連携して、  
100 種のトンボを指標とした生物多様性保全活動を展開 ～**

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小堀 秀毅）、旭化成住工株式会社（本社：滋賀県東近江市、代表取締役社長：末廣 健二）、オムロン株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長 CEO：山田 義仁）、積水化学工業株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：加藤 敬太）、積水樹脂株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役会長 兼 CEO：福井 彌一郎）、ダイハツ工業株式会社（本社：大阪府池田市、代表取締役社長：奥平 総一郎）、株式会社ダイフク（本社：大阪市西淀川区、代表取締役社長：下代 博）、ヤンマーホールディングス株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：山岡 健人）の 8 社で構成する「生物多様性びわ湖ネットワーク（以下 BBN）」が、公益財団法人 日本自然保護協会（理事長：亀山 章）が主催する「日本自然保護大賞 2021」の教育普及部門で大賞を受賞しました。



「日本自然保護大賞」は、自然保護と生物多様性保全に大きく貢献した、すべての個人と団体、企業、自治体等を表彰するものとして、日本自然保護協会が 2014 年度から開始した表彰です。7 回目の開催となる今年は、応募された 129 件の活動から、保護実践部門、教育普及部門、子ども・学生部門の 3 部門の大賞が各 1 件、特別賞である沼田眞賞 1 件、選考委員特別賞 2 件、入選 20 件が、1 月 18 日に発表されました。3 月 13 日にオンラインで開催される授賞記念シンポジウムでは、大賞および特別賞の合計 6 件について活動成果の発表が行われる予定です。

今回、教育普及部門の大賞を受賞した BBN は、滋賀県に拠点を持つ異業種の企業 8 社が、滋賀県の生物多様性を保全することを目的に、2016 年に発足した任意団体です。BBN では、今回の受賞につながった「トンボ 100 大作戦～滋賀のトンボを救え！～」と題したプロジェクトを 2016 年から開始し、県内で確認されている 100 種のトンボを指標とした生物多様性保全活動を展開しています。

プロジェクトでは、「滋賀県のトンボ 100 種を探そう！」「滋賀県のトンボを守ろう！」「みんなに知らせよう！」の 3 つの作戦を掲げて、各企業の持つ緑地や湿地、池の管理や定期的なモニタリング、周辺地域の自然の現状把握、ビオトープの整備や外来生物の駆除、自然観察会や活動の展示・発表などに取り組んできました。2020 年からは、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）によるトンボの特徴や生息環境を公開するなど、積極的な発信に取り組み、企業・団体の参画拡大や生物多様性の保全意識の向上を目指しています。

今回の受賞では、BBN が琵琶湖をフィールドに 8 社の企業が連携し、「トンボ」という一般にも分かりやすいテーマを設定することで、活動の広がりをもち、地域の生物多様性の向上と普及啓発活動を合わせて実現していることが評価されました。

BBN は、今後地域への社会貢献活動を通じて、生物多様性の保全および持続可能な社会の実現を目指してまいります。

#### ■ 「トンボ 100 大作戦」の主な活動

トンボは、幼虫の時期は水辺、成虫の時期は陸上といったように、多様な環境を利用しています。「トンボ 100 大作戦」の活動が、水辺を中心とした環境保全につながり、結果的に多様な生物種を含む生態系、ひいては生物多様性全体の保全に寄与すると BBN は考えています。「トンボ 100 大作戦」は、3 つの作戦を掲げています。

#### 作戦①：「滋賀県のトンボ 100 種を探そう！」

専門家の協力のもと、地域住民、各社従業員でトンボを採集・観察し、地域の自然の現状把握、希少種や生息状況のデータを収集します。その結果を専門家と共有し、地域・企業間での交流を行っています。5 年間で 78 種のトンボを確認しました。



自然観察会でのトンボ採取

## 作戦②：「滋賀県のトンボを守ろう！」

作戦 1 での調査結果を踏まえ、各社で保全対象の「推しトンボ」を選定し、各社内の緑地、湿地、池等の保全区域の設定と管理、池への浮島設置や浅瀬の創出、ビオトープ整備や定期的なモニタリング調査、水質改善のための池干し、生息環境改善のための外来生物駆除などの保全活動を実施しています。



水質改善のための池干し作業

## 作戦③：「みんなに知らせよう」

自然観察会、琵琶湖博物館での活動展示、シンポジウムなどでの発表、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を通じて、保全活動の取り組み、トンボの特徴、生息環境などの情報を幅広く発信することで、社会に現状を伝え、保全の意識向上を目指した啓発活動を行っています。



琵琶湖博物館での活動報告展示

### ■ 「日本自然保護大賞 2021」特設サイト

<https://www.nacsj.or.jp/award/index.php>

### ■ 「日本自然保護大賞 2021」授賞記念シンポジウム

開催日時： 2021年3月13日（土） 14：00～17：00（YouTube オンライン配信、無料、申込不要）

開催 URL： [https://youtu.be/FRyD\\_SxrOus](https://youtu.be/FRyD_SxrOus)

■ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先

旭化成株式会社

担当：名和、阿曾村

TEL：03-6699-3008

e-mail：[ak-houdou@om.asahi-kasei.co.jp](mailto:ak-houdou@om.asahi-kasei.co.jp)

旭化成住工株式会社（旭化成ホームズ株式会社 広報室）

担当：上代（かじろ）

TEL：03-6899-3010

e-mail：[j-koho@om.asahi-kasei.co.jp](mailto:j-koho@om.asahi-kasei.co.jp)

オムロン株式会社 ブランドコミュニケーション部

担当：安井、柳原

TEL：075-344-7175

e-mail：[kazunori.yasui@omron.com](mailto:kazunori.yasui@omron.com)  
[yu.yanagihara@omron.com](mailto:yu.yanagihara@omron.com)

積水化学工業株式会社 広報部

担当：水田、中村

e-mail：[kouhou@sekisui.com](mailto:kouhou@sekisui.com)

積水樹脂株式会社 コーポレート部

担当：今井

TEL：06-6365-3204

e-mail：[imaik@sekisuijushi.co.jp](mailto:imaik@sekisuijushi.co.jp)

ダイハツ工業株式会社 広報・渉外室

担当：（大阪） 升田、（東京） 森

TEL：（大阪） 072-754-3047、（東京） 03-4231-8854

e-mail：[Akira\\_Masuda@dk.daihatsu.co.jp](mailto:Akira_Masuda@dk.daihatsu.co.jp)

株式会社ダイフク サステナビリティ推進部 環境品質グループ

担当：三好

TEL：0748-53-8325

e-mail：[yoriko\\_nishikawa@ha.daifuku.co.jp](mailto:yoriko_nishikawa@ha.daifuku.co.jp)

ヤンマーホールディングス株式会社（ヤンマーミュージアム 広報担当）

担当：多賀

TEL：0749-62-8887

e-mail：[yanmarmuseum@yanmar.com](mailto:yanmarmuseum@yanmar.com)